



まつざき真琴

県議会ニュース

日本共産党

鹿児島県議会ニュース
2011年10月16日号
9月議会特集その2
原良団地建て替え問題

発行/日本共産党鹿児島県議団 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
★TEL/FAX 286-3977 E-mail kengidan@jcp-kagoshima.com ホームページ http://jcp-kagoshima.com
★ブログ『まこっちゃんのいっぺこっぺ奮闘記』 http://matsuzakimakoto.synapse-blog.jp/



住民本位のまちづくりを 原良団地の建て替えは団地内で ガーデンヒルズ松陽台は戸建て分譲を



まつざき真琴県議は、9月議会の一般質問で、県が、県営原良団地の建て替えを、一部ガーデンヒルズ松陽台で行う問題を取り上げ、当初の計画通りに全て現地でおこなうことと、ガーデンヒルズ松陽台は、当初の計画通りに戸建ての分譲を進めることが、両方の住民の願いであることを主張しました。

当初の計画は？



県は、老朽化した原良団地を750戸分建て替える計画について、1期工事から12期工事までの時期も示しながら、住民説明会を行いました。住民のみなさんは、自分の棟の工事が早く始まってほしいと、期待していました。

一方、県住宅供給公社が造成したガーデンヒルズ松陽台は、戸建て住宅の分譲地として開発されたものです。

県の説明は？



県は、原良団地の1期工事の80戸分が完成したところで、突然、2期工事の50戸までで、現地での建て替えを中止する方針を明らかにしました。県は、旧鹿児島市内の県営住宅を将来は「ゼロ」とするとして、建て替えを旧松元町のガーデンヒルズ松陽台で行うとしました。

住民からは、驚きの声とともに、原良団地に住み続けられるようにしてほしい、という陳情も出されました。

県は、交通事情も改善しており、郊外の自然に恵まれた良好な環境で、子育てに適している場所として松陽台に県営住宅を移す理由を説明しています。

原良団地の住民は？



原良団地のみなさんは、「住み慣れた団地の外に引っ越すことは考えられない」「約束を守ってほしい」と計画通りの建て替えを望んでいます。

明和地域のみなさんも「団地の住民が少なくなれば、商店やクリニックなどの経営にも影響が出て、撤退するかもしれない。そうなれば、不便でさびれたまちになってしまう。明和全体のまちづくりのためにも、原良団地は当初の計画通り、現地で進めてほしい。」という声が圧倒的多数です。

松陽台の住民は？



ガーデンヒルズ松陽台の県が県営住宅を建てようとしている場所は、戸建て住宅の分譲地として区割りがされているところです。また、分譲地の宣伝パンフに「商業施設等」とされているところにも県営住宅を建てる計画を進めており、住民のみなさんが、県に強く抗議した結果、再度変更し、商業施設の誘致を行うと説明しています。

住民のみなさんは、県営住宅が建って人口が大幅に増えることで、小学校の教室が不足することや今でも通学者で混雑する上伊集院駅のホームの安全性や災害時の避難場所が遠い問題など、まちづくりの視点から、当初の約束通り、戸建て住宅として販売し、商業施設の誘致を進めてほしいと要望しています。

両方の住民の願いの実現のため

原良団地とガーデンヒルズ松陽台の住民のみなさんの願いは共通しています。

当初の計画通り、原良団地の建て替えは団地内で進めれば、両方の住民の願いは実現されます。住民の願いより優先させるものが県にはあるのでしょうか。

住民の願いよりも、県住宅供給公社の財政的支援が優先されることになるのは許せません。

まつざき県議は、質問の最後に、住民のみなさんとともに、住民の本位のまちづくりを求めていく決意を述べました。

県議会の会派の対応は？

松陽台町内会から出された陳情（鹿児島市松陽台町への県営住宅約390戸大增設反対に関する陳情書）は、まつざき県議だけが採択を主張し、他の議員はすべて継続審査としました。

ご意見、ご要望をお聞かせください。